

## クルーズサマリー

### 1. 航海情報

(1) 航海番号： KM21-E04C Leg1

(2) 使用船舶： かいめい

(3) 航海名称

「新たな海洋保護区（沖合海底自然環境保全地域）管理のための深海を対象とした生物多様性モニタリング技術開発」（Leg 1）

(4) 首席研究者

藤原 義弘（海洋研究開発機構）

(5) 課題代表研究者

JC21-01 藤倉 克則（海洋研究開発機構）

(6) 研究課題名

JC21-01 新たな海洋保護区（沖合海底自然環境保全地域）管理のための深海を対象とした生物多様性モニタリング技術開発

(7) 航海期間

2021/10/12 - 2021/10/17

(8) 出港～帰港

横須賀港 JAMSTEC 専用 1 号棧橋 - 洋上切替

(9) 調査海域

西七島海嶺

### 2. 調査概要

沖合海底自然環境保全地域のモニタリングを実施するための新たな手法を開発するために、2021年10月12日から2021年10月17日にかけて、同地域に指定された西七島海嶺において調査航海を実施した。西七島海嶺中部の宝永海山および元禄海山南方において、ROV 潜航調査4回、CTD キャスト1回、ベイトカメラキャスト3回、ランダーキャスト1回を実施した。新たに開発したランダーにはニスキン採水器3本、大量海水ろ過システム1台、堆積物コアサンプラー1台、各種物理化学センサー、ビデオカメラを搭載し、元禄海山南方の水深2065mに設置した。その結果、計36リットルの海水、合計約100リットルの水を濾過した計4本のカートリッジフィルター、23分のビデオ映像、流向流速、水温、塩分、圧力、濁度、溶存酸素濃度といった環境データを24時間にわたり取得した。またベースライン情報を得るために、ROV 調査によって約150サンプルの生物試料、堆積物、海水、数百枚にのぼる写真を取得した。